

卒業時：言語や文化に対する興味・関心を持ち、簡単な英語を使って自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりすることができる。						
		READING (読むこと)	LISTENING (聞くこと)	WRITING (書くこと)	SPEAKING (話すこと)	
英検 3級	一学 年	普通	教科書の英文を語句や文の構造に注意しながら読めば内容を理解することができる。	教師が中学レベルの英語を使って話せばクラスルームイングリッシュをおおよそ理解し、積極的に活動することができる。	基本的文法事項をおさえれば身近な出来事について25語以上で書くことができる。	メモの助けがあれば発音やイントネーションに注意し、写真や絵を使って、与えられたテーマについて話すことができる。
		住環	教科書の英文を語句の意味を確認しながらゆっくり読めば内容を理解することができる。	教師が中学レベルの英語を使ってゆっくり話せばおおよそクラスルームイングリッシュを理解し、積極的に活動することができる。	基本的文法事項をおさえれば身近な出来事について25語以上で書くことができる。	メモの助けがあれば発音やイントネーションに注意し、写真や絵を使って、与えられたテーマについて話すことができる。
		文理	教科書の英文を文の構造、内容の要点を示す語句や文、つなごりなどについて注意しながら読めば内容を理解することができる。	教師が中学レベルの英語を使って話せばクラスルームイングリッシュや教科書の内容を理解し、積極的に活動することができる。	基本的文法事項をおさえれば身近な出来事について35語以上で書くことができる。	発音やイントネーションに注意しながらできるだけメモの内容を記憶することで写真や絵を使って与えられたテーマについて話すことができる。
		評価方法	・定期考査 ・リーディングテスト	・定期考査 ・リスニングテスト	・定期考査 ・ライティングテスト	・スピーチ ・インタビューテスト
英検 準2級 3級	二学 年	普通	教科書の英文を語句や文の構造に注意しながら読めば出来事の内容が理解することができる。	教科書準拠の音声CDよりやや遅い速さで話される内容を繰り返し聞けば、概ね理解することができる。	基本的文法事項をおさえれば身近な出来事について自分の意見とその理由を30語以上で書くことができる。	できるだけメモを見ずに写真や絵、ジェスチャーを使って、与えられたテーマについて話すことができる。
		住環	教科書の英文を語句や文の構造を確認しながらゆっくり読めば出来事の内容が理解することができる。	教科書準拠の音声CDより遅い速さで話される内容を繰り返し聞けば、概ね理解することができる。	基本的文法事項をおさえれば身近な出来事について自分の意見とその理由を30語以上で書くことができる。	できるだけメモを見ずに写真や絵、ジェスチャーを使って、与えられたテーマについて話すことができる。
		文理	教科書の英文を未知の語の意味を推測したり、文章の構成を把握することや出来事の内容を理解することができる。	教科書準拠の音声CDと同程度の速さで話される内容を繰り返し聞けば、概ね理解することができる。	基本的文法事項をおさえれば与えられたテーマについて自分の意見とその理由を50語以上で書くことができる。	メモの内容を記憶し、写真や絵、ジェスチャーを使って、与えられたテーマについて話すことができる。
		評価方法	・定期考査 ・リーディングテスト	・定期考査 ・リスニングテスト	・定期考査 ・ライティングテスト	・スピーチ ・プレゼンテーション
英検 準2級 3級	三学 年	普通	教科書の英文を語句や文の構造に注意しながら読むことで段落の要点や内容のつながりを理解することができる。	教科書準拠の音声CDと同程度の速さで話される内容を繰り返し聞けば、概ね理解することができる。	文章の構成を考えながら既習単語・文法を使うことで与えられたテーマについて自分の意見とその理由を40語以上で書くことができる。	与えられたテーマについて簡単な語彙や文を使った短い話ならばメモを見ずに写真や絵、ジェスチャーを使って、自分の考えを相手に伝えるように話すことができる。
		住環	教科書の英文を語句や文の構造を確認しながら読むことで出来事の内容が理解することができる。	教科書準拠の音声CDと同程度の速さで話される内容を繰り返し聞けば、概ね理解することができる。	文章の構成を考えながら既習単語・文法を使うことで与えられたテーマについて自分の意見とその理由を40語以上で書くことができる。	与えられたテーマについて簡単な語彙や文を使った短い話ならばメモを見ずに写真や絵、ジェスチャーを使って、自分の考えを相手に伝えるように話すことができる。
		文理	評論、物語、随筆などをパラグラフのつなぎに注意しながら読めば内容を理解することができる。	教科書準拠のCDよりやや速く話される内容を繰り返し聞けば、概ね理解することができる。	文章の構成を考えながら既習単語・文法を使うことで与えられたテーマについて自分の意見とその理由を60語以上で書くことができる。	与えられたテーマについてメモを見ずに写真や絵、ジェスチャーを使って、自分の考えを相手に伝えるように話すことができる。
		評価方法	・定期考査 ・リーディングテスト	・定期考査 ・リスニングテスト	・定期考査 ・ライティングテスト	・スピーチ ・プレゼンテーション